



最上エコボリスの実現
=豊かな自然 輝くもがみ=

小国川だより

最上小国川治水対策について、お知らせします。

小さなダム・大きな仕事 最上小国川ダム

第40号

平成24年11月22日発行

山形県 最上総合支庁
建設部 河川砂防課

最上小国川ダム建設工事「着工を祝う会」を開催

10月29日、最上小国川穴あきダム建設促進協議会（会長：最上町長）が、最上小国川ダム建設工事「着工を祝う会」をダム建設地にて開催しました。

また、これに先立ち、工事用道路工事の施工業者が、「安全祈願祭」を執り行いましたので、その様子も併せてご報告します。

【安全祈願祭】

当日は、朝まで降り続いた雨も開始時刻には上がり、すがすがしい空気の中、地元や用地協力者の方々を中心に58名の参列を得て、最上町富山馬頭観音の奥山東順住職による安全祈願祭が厳かに執り行われました。

知事代理の齋藤隆県土整備部整備推進監、岸宏一参議院議員、県議会議員代理の加賀正和建設常任委員長、高橋重美最上町長、菅俊郎最上町議会議員、赤倉地区代表の早坂義範赤倉温泉最上小国川穴あきダム建設促進期成同盟会長、施工業者がそれぞれ玉串を奉奠し、工事の安全を祈願しました。

【着工を祝う会】

「着工を祝う会」では、主催者を代表して最上小国川穴あきダム建設促進協議会長である高橋最上町長が「前町長時代からの二十数年越し



岸参議院議員のご祝辞



鎌での刈り初め
(菅議長、齋藤推進監、高橋町長、早坂同盟会長)



鍬での穿（うが）ち初め
(山科県議、加賀委員長、伊藤県議)



早坂同盟会長の閉式の挨拶
(着工への感謝と早期完成の要望)

の念願の安全・安心の砦であるダム本体工事に向けた工事用道路がいよいよ着手されることに感謝申し上げます。」と挨拶し、続いて、知事、岸参議院議員、県議会議員、それぞれからご祝辞を頂きました。次に松田正最上総合支庁建設部長により事業概要が説明された後、鍬入れ式が執り行われました。

鍬入れ式では、知事代理の齋藤整備推進監、高橋町長、菅町議会議員、早坂同盟会長が鎌による刈り初めの後、県議会議員代理の加賀委員長、伊藤重成県議会議員、山科朝則県議会議員が鍬による穿（うが）ち初めを行い、さらに施工業者が鋤（すき）均しを執り行いました。

最後に早坂同盟会長が「住民が待ちかねたダム本体工事に向けた工事用道路が、関係者の皆様のご協力により着工できたことに大変感謝しております。さらに、ダム本体工事の早期着工、早期完成を願っております。」と閉式の挨拶をし、「着工を祝う会」が滞りなく終了しました。

【会場の近くでは】

一方、会場の近くでは、ダムに依らない治水を訴えている草島県議会議員や「最上小国川の清流を守る会」の高桑共同代表ほか11名による抗議活動が行われていました。

流水型（穴あき）ダム の 先進事例

最上小国川ダムの型式は、流水型ダム（通称：穴あきダム）です。この流水型ダムとは、ダムの底部に洪水を放流する穴があることから、洪水が発生した時だけ水を貯める構造となっており、流水とともに上流から運ばれてくる土砂をダムに貯めずに流すなど、水を貯めるダムに比べて環境への影響が少ないダムとされています。

全国には、同じ型式で、完成し運用しているものや、建設中、計画中のものがあり、その内、次の3ダムについて、今年、最上総合支庁の職員が先進事例調査を実施しましたのでご紹介します。

【益田川ダム】

益田川（ますだがわ）ダムは、平成18年3月に完成した島根県益田市にある県管理のダムで、最上小国川ダムより若干大きく、国土交通省所管では国内初の流水型ダムです。

完成後5年を経過しており、洪水発生後の状況や管理上の方法、課題などを現地調査しました。ダム直下流にある減勢池（※）では貯まった砂が見られましたが、その状況は模型実験でシミュレーションしたとおりであり、今後の洪水により下流へ流されるしくみとのことでした。また、減勢池では魚や蟹の姿が見られたほか、島根県の担当者によれば上流では鮎のはみ跡も確認されているとのことでした。

（※減勢池（げんせいち）とは、洪水が発生した時、ダムから流れてくる勢いの強い水を弱めるための施設で池の形をしています。）



完成後5年目の益田川ダム
（島根県益田市）

【辰巳ダム】

辰巳（たつみ）ダムは、本年6月から運用を開始した石川県金沢市にある県管理のダムで、最上小国川ダムよりもひと回り大きく、国土交通省所管では国内2例目の流水型ダムです。

日本三名園の一つ兼六園の水源になっている『辰巳用水』の取水口がダムの直下流にあることから、歴史や伝統へ配慮するとともに周辺渓谷や家屋と調和を図るなど、景観に配慮したデザインとなっています。

また、流木対策としてダム本体底部にある常用洪水吐き用スクリーンのほか、湛水域上流端に鋼製スリットタイプの流木止が設置されており、最上小国川ダムでも参考にしていきたいと考えています。



今年から運用開始した辰巳ダム
（石川県金沢市）



流木止
（辰巳ダムから2km上流）

【浅川ダム】

浅川（あさかわ）ダムは、長野県長野市に現在建設中の県施工ダムで、最上小国川ダムよりもひと回り大きいダムです。

平成22年5月からダム本体の工事に着手し、平成24年10月には本体のコンクリート打設が約4割まで進んでいます。

平成29年度の完成に向け、超低騒音型の建設機械を使用するなど環境にも配慮しながら、着実に工事が進められていました。



コンクリート打設中の浅川ダム
（長野県長野市）

発行：山形県 最上総合支庁 建設部 河川砂防課 最上小国川ダム建設室 高橋・庄司
〒996-0002 山形県新庄市金沢字大道上 2034
お問合せ先 電話 0233-29-1407 Email - 【前画面を参考にしてください】

バックナンバーは県HPからダウンロードできます。アドレスは下記のとおりです。

http://www.pref.yamagata.jp/regional/mogami_bo/news/news/7314074ogunigawa_news.html